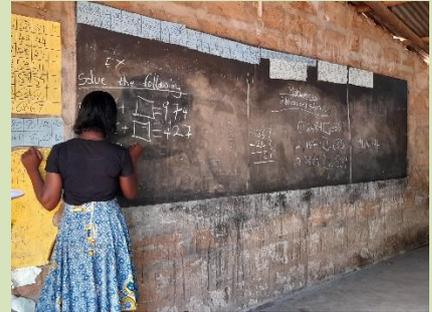


# ガーナでそろばんプロジェクト95 号(2021年08月09日)

★★ 繰り上がり繰り下がりの基本そして make5make10 ★★



上記写真右2枚中央2枚は3年生で撮った写真です。ガーナの学校では繰り上がり繰り下がりの計算が小学3年生で出てきます。先生は教室に貼られた数の表からもわかるように常に一生懸命なことはわかるのですが、肝心な繰り上がり繰り下がりの肝心なところが指導されていないのです。この時、生徒の中には、持参した棒切で計算している子どももいました。その棒はあるだけ用意されたとあって10本以上ありました。左上下2枚の写真は、4年生でそろばんの授業をした時の写真です。私が問題を黒板に書いた時に、ノートを取り出し棒を書いて計算する生徒が数人いました。「棒を書いてもいい。だけでもしっかりとそろばんの計算の仕方を覚えなさい。計算が出来るようになるから。」私の顔をしっかりとみて私の話を聞く生徒。絶対に計算が出来るようになる、そう確信しました。何度も繰り返し指導するそろばんの珠の見方。今日できたから次回はもっと出来るようになる、そう思い授業を行なうもの前回読めたそろばんの珠がまた読めないでいる、一歩進んで二歩も三歩も下がり、そこから先に進めないのが4年生の現状です。ある日、4年生の算数の授業を校長先生がしていました。それは、4325の数は、千が4つ、百が3つ...数の仕組みを教えてくださいました。担任は私の顔を見ると「困ったよ...理解できていない生徒が多い。」そう言いたげでした。出来ない生徒はケーンで叩かれその痛みで泣いていました。そうした中、学期休みに入る前のある日、4年生の先生と算数の授業を一緒に行ないました。Make5, make10を答える授業です。簡単に思われがちなのmake5とmake10の基本で重要で、これが出来るようになって繰り上がり繰り下がり理解できるのです。理解できないまま留年こそしなかったものの計算が出来ないまま中学生になる生徒はかなりのいます。ガーナの教育カリキュラムそのものが大事な何かが抜け落ちている気がするのです。5年生のサイエンスの授業でえっ?そんな難しい事教えるの?というものもありました。パーセントの問題です。分数、割合を理解していないのにいきなり%が出てくるのです。サイエンスのこの%の問題も算数の基本につながっているのです。算数の基本を教える授業はまだまだ続きそうです。八月六日から5年生までは長期休みに入りました。この長期休みの間に子どもたちが珠の読み方を忘れてしまうのでは?という不安は大いにありますが、四歩も五歩も下がったら、下がった分ガンガン進んでいかなければなりません。(TOSHIKO)

協賛

トモエそろばん様